



東北大学



災害科学国際研究所

2017年2月10日

東北大学災害科学国際研究所

## 津波の来襲状況や被害に関する動画検索システム 「動画でふりかえる 3.11」 — 東日本大震災公開動画ファインダー — を公開しました

2011年3月11日に未曾有の大災害である東日本大震災が発生し、太平洋沿岸部には巨大津波が来襲、多くの犠牲者を出しました。来襲当時、沿岸部の様子は様々な記録に残されていますが、震災の発生から6年が経過しようとする現在も、悲惨な被災現場を記録した動画がインターネット上に数多く公開されています。

東北大学災害科学国際研究所では、当時の何が起きたかを検証し、今後被害を繰り返さないために、東日本大震災が発生した際の状況についておさめられた映像を同定し、これらの動画を地図上に配置することで、東日本大震災の津波の発生状況・被害を映像でたどることができる動画検索システム「動画でふりかえる 3.11—東日本大震災公開動画ファインダー—」をこのたび公開しました。

本システムは、一般の方が当時の様子を動画情報でふりかえり、どこの場所でどのような被害があったのか、被災の状況をイメージしながら津波およびその被害に対する正しい知識や認識を持って頂き、さらに避難行動等につなげるためのツールとして活用していただくことができます。

「動画でふりかえる 3.11」 — 東日本大震災公開動画ファインダー —

<http://311movie.irides.tohoku.ac.jp/>

このシステムでは、東日本大震災の津波に関する情報に特化し、インターネット上（YouTube）で公開されている映像・動画を地図上で検索することができます。

現在、YouTube上に公開されている動画には、位置情報が入っているものはごくわずかしかありません。そこで東北大学災害科学国際研究所では、インターネット上（YouTube）で公開されているすべての動画を目視で確認し、映像に写っている地物を参考に「撮影された場所（位置情報）」を一つずつ探し、同定する作業を行い、各映像に位置情報を付与して、地図上に表示することができました。

現在、本システムには、1,369件の「映像・動画」をリンクしています。このうち、元から位置情報が入っているものは数十件で、これ以外は改めて位置を同定したものになります。このうち、

位置を正確に、もしくは概ね正確に同定できているものは、あわせて 973 件で全体の 75.8% となっています。



図1 「動画でふりかえる3.11」のトップページ画面



図2 「動画でふりかえる3.11」の検索結果詳細画面

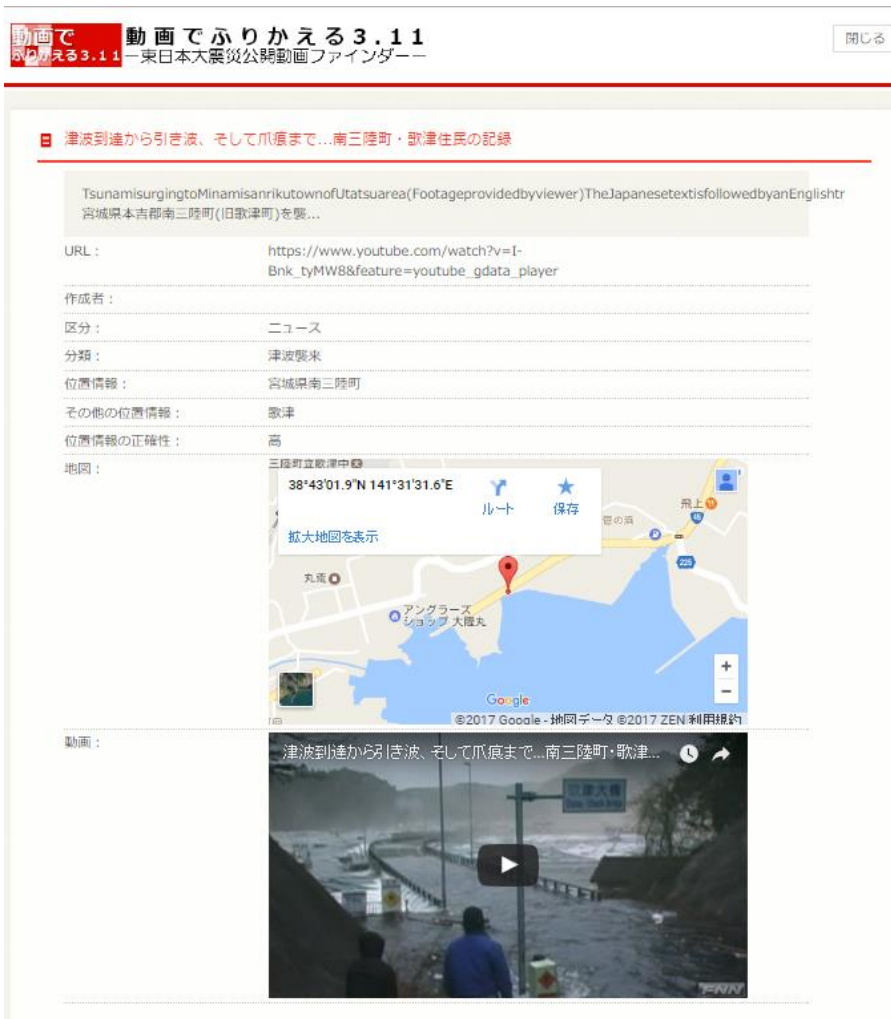


図3 「動画でふりかえる 3.11」の検索結果の詳細画面

本システムでは、「映像」を地図上に配置、時系列により3色に色分けして表示しており、バルーンをクリックするとウェブサイト上で簡単に動画を見ることができます。その他、フリーキーワードを入力して検索する方法、タグクラウドからキーワードを選択して検索する方法の3通りの検索方法があり、目的にあった使い方ができます。

本データベースの意義をご理解いただき、紙面・番組等でご紹介くださいますよう、広報へのご支援をお願いいたします。

■お問い合わせ先

東北大学災害科学国際研究所  
責任者：今村文彦（所長・教授）

開発・運用担当：佐藤翔輔（助教）、  
TEL&FAX 022-752-2140  
ssato@irides.tohoku.ac.jp